

青森県教育委員会第800回定例会会議録

期 日 平成27年9月2日（水）

場 所 教育庁教育委員会室

議事目録

- 議案第1号 平成27年度青森県教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書について・・・・・・・・・・・・・・・・原案決定
- そ の 他 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について
- そ の 他 職員の懲戒処分の状況

平成27年9月2日（水）

- ・開会 午後1時30分
- ・閉会 午後1時56分
- ・出席者の氏名
豊川好司、町田直子、中沢洋子、杉澤廉晴、中村充（教育長）
- ・説明のために出席した者の職
金教育次長、奈良教育次長、岡田参事、田村参事、教育政策・職員福利・学校教育・学校施設・生涯学習・スポーツ健康各課長
- ・会議録署名委員
中沢委員、杉澤委員
- ・書記
仁和由紀人、村上健

会 議

議 事

議案第 1 号 平成 2 7 年度青森県教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書について

(荒関教育政策課長)

別冊資料の 1 頁を御覧いただきたい。

まず、「1 趣旨」であるが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、報告書を議会に提出するとともに、公表することとされている。この規定に基づき、事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめたものである。

「2 点検・評価の方法」であるが、(3)にあるとおり、点検・評価に当たっては、県が実施している政策点検の仕組みを活用したところである。この政策点検は、県の政策・施策を県総合計画審議会の知見を活用しながら自己点検するとともに、その点検結果については、県総合計画審議会が検証の上、今後の取組に向けた提言を行っているものである。

次に、4 頁を御覧いただきたい。報告書の概要であるが、点検・評価に当たっては、青森県教育振興基本計画の 1 0 の施策ごとに現状と課題を表す指標を用いながら点検し、今後の取組の方向性について評価したところである。参考までに 9 頁を御覧いただきたい。

「青森を理解し青森を発信できる人づくり」という施策であるが、中段以下の施策の現状と課題を表す指標を用いて、右側にあるとおり、「施策の現状と課題」を明らかにし、それを踏まえた「今後の取組の方向性」を記載している。また、1 1 頁以下では、「施策を構成する教育委員会の主な事業」を掲載している。

なお、この報告書については、この後、9 月定例県議会に提出するとともに、県教育委員会のホームページ等で公表することとしている。

(中沢委員)

県総合計画審議会ではどのようなことが話し合われたのか。

(荒関教育政策課長)

最終的に集約された結果が 2 頁、3 頁にあるが、県総合計画審議会の提言という形でまとめられている。非常に幅広い観点から御助言いただいたところである。

(杉澤委員)

施策の指標の目標値というのはあるのか。

(荒関教育政策課長)

定性的な形であるが、「今後の取組の方向性」という形で記載している。

(豊川委員長)

全体的には正しく評価されたということか。

(荒関教育政策課長)

これまでの取組を十分理解していただいた上で、今後の事業の展開に資するような提言をいただいたということである。

(豊川委員長)

他に何かご意見、ご質問はあるか。なければ、議案第1号は原案どおり決定する。

そ の 他 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

(和嶋学校教育課長)

4月21日に実施された平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について御報告する。

まず、「教科に関する調査」についてである。本県の公立小学校第6学年の児童は、昨年度と同様に、すべての教科の平均正答率が全国の平均を上回っていることから、良好な状況にあると捉えている。本県の公立中学校第3学年の生徒については、国語Aは、昨年度と同様に、全国の平均正答率を上回っており、数学Aは、昨年度は全国平均を上回っていたが、今年度は全国平均と同じである。また、理科の平均正答率は全国を上回っている。一方で、国語Bと数学Bは、昨年度は全国平均を上回っていたが、今年度は全国平均に届かなかった。これらのことから、中学校の国語と数学において、特に「活用」に関する問題について課題がみられる。

次に、「質問紙調査」についてであるが、右上にある表のとおり、82項目ある質問事項に対し、全国平均を5ポイント以上上回っているのは、小学校では20項目、中学校では18項目あり、5ポイント以上下回っているのは、小学校では2項目、中学校では4項目であることから、良好な生活及び学習状況であると捉えている。ページ中程の表であるが、小学校については、①の全国平均を上回っている上位5項目から、本県の児童は、家庭において日常的に学校の授業の予習復習をきちんと行い、学校が休みの日にも学習時間を確保していること、また、理科の授業において振り返りをきちんと行い、自分の考えを説明したり、発表したりしていることから、主体的に学習に取り組んでいることがうかがわれる。中学校については、①の全国平均を上回っている上位5項目から、家で学校の授業の復習を行っていること、授業において学習内容を振り返り、ノートに学習の目標とまとめを書いていることから、学んだことを定着させるよう学習に取り組んでいることがうかがえる。一方で、②の全国平均を下回っている項目から、普段、家庭で2時間以上学習する生徒の割合が全国平均を11.3ポイント下回っていること、家での授業の予習については、全国平均を7.4ポイント下回っていることから、小学校とは対照的に、学校の

授業の予習や普段の家庭における学習時間が少ないことがうかがえる。今後は、調査結果について詳細な分析を行い、11月までに報告書を作成し、全小中学校及び市町村教育委員会へ配布することとしており、児童生徒が知識や技能だけではなく、学ぶ意欲や主体的に課題を見つけて解決していく力を身に付けられるよう学校を支援していきたいと考えている。

(町田委員)

私としては、青森県の学力を上げ、子どもたちが全国でもトップレベルに行くような学力を身につけて欲しいと願っている。しっかりと原因を分析し、弱いところを強化して、青森県の学力向上につなげていただきたい。調査結果を見ていると、青森県は割と家で学習している子どもが多いが、全国平均を上回っているところは、おそらく塾に通っている子どもが多いと思う。そこで、家庭教育の充実を図っていくため、学校教育でどのような学習環境を整えていくのかということも強化していただきたい。

(中村教育長)

やはり家庭での学習時間というところが数字として低いので、学校でどういった手がかりを家庭に提供していくか、あるいはどうやって授業の中で興味を持ってもらって、家でも取り組もうといった流れにつなげていくかということが課題であると思う。具体的には全体を分析しないと何とも言えないが、本県の子どもたちの学力の向上につながるような取組を進めていきたい。

(中沢委員)

ネットやスマホの使用に関して家庭のルールがないとなかなかやめられない。また、中学生になると部活が始まる。一概には言えないが、そうしたことも背景にあるのではないかと思う。

(豊川委員長)

調査結果に地域差はあるのか。

(和嶋学校教育課長)

市町村、あるいは学校で自分たちの状況というのはきちんと把握しており、課題を解消するためにそれぞれががんばっていると聞く。そういった意味では、調査が始まった頃から比べると、それぞれに取組は進んでいると思う。

(杉澤委員)

地域の行事への参加が少ないというのは意外だったが、その理由は何か。

(和嶋学校教育課長)

昨年度、県の環境生活部で行った調査では、最近1年間で地域の活動に参加したことがある子どもの割合は小学生で83パーセント、中学生で79.4パーセントとなっている。

今回の全国学力・学習状況調査の質問では、「今住んでいる地域の行事に参加しているか」という質問に対して、選択肢が4つあり、「あてはまる」、「どちらかというにあてはまる」、「どちらかというにあてはまらない」、「あてはまらない」のうちから選んで回答することとなっている。質問の形式が若干異なっているため、子どもたちの回答結果に影響が出ているのかなと思う。

(豊川委員長)

他に何かご意見、ご質問はあるか。なければ、平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の概要については了解した。

そ の 他 職員の懲戒処分の状況

(田村参事)

8月に行った職員に対する懲戒処分のうち、社会的影響が大きな事案であり、処分後速やかに公表を行った事案1について御説明する。

この事案は、三八地域八戸市の中学校教諭が、青森県青少年健全育成条例違反並びに児童買春、児童ポルノ禁止法に違反する行為を行ったもので、当該職員に対して免職の懲戒処分を行ったものである。

(中村教育長)

教職員の服務規律の確保については、これまでも再三にわたり指導の徹底を図ってきたが、今回、このような不祥事が発生したことから、市町村教育委員会及び県立学校に対し、服務規律の確保の徹底について通知し、公務員としての使命感や責任感について自覚を促す指導の徹底を図るようお願いした。

県教育委員会としては、今後も、関係機関と連携し、教職員の服務規律の厳正な確保に取り組み、学校と一丸となって、信頼される学校づくりに努めるとともに、教職員一人一人が自覚を持って、服務規律の確保に努めるよう、引き続き、あらゆる機会を通して指導の徹底を図って参りたい。

(豊川委員長)

何かご意見、ご質問はあるか。なければ、職員の懲戒処分の状況については了解した。